

## npoHYC 沿革(2013.4)

西暦	和暦	HYCの沿革	葉山港・森戸海岸のヨットの歴史	国内外のヨットの歴史
1844	弘化元年			アメリカ、ニューヨーク・ヨットクラブ設立
1851	嘉永4年			イギリス・アメリカ国際レース、アメリカチーム勝つ(アメリカズ・カップの始まり)
1875	明治8年			横浜で日本初のヨットレースが行われる。英国ヨット協会(RYA)設立
1886	明治19年			横浜アマチュア・ローイングクラブ設立、その中に横浜セーリングクラブを設立。
1900	明治23年			パリ・オリンピックでヨットが正式種目となる
1907	明治30年			国際ヨット競技連盟(IYRU)創立(本部ロンドン)
1920	大正9年頃~		葉山海面にローンスター(小沢兄弟)、パリフー(財部兄弟)、ミス・ニッポン(山口四郎)、トリトン(大村泰敏)、初風(慶応OB)、九州には筑紫、玄海(九大)が帆走	
1922	大正11年			琵琶湖に日本ヨット倶楽部創設
1932	昭和7年		8/21森戸海岸にて「第1回湘南ヨットレース開催」(三田ヨットクラブ主催)	三田ヨット倶楽部誕生、日本ヨット協会(現:日本セーリング連盟)設立、関東学生ヨット連盟(学連)発足 6月 日本モーターボート協会機関誌として『舵』創刊。
1933	昭和8年	湘南ヨットクラブ結成????  (新宿湾・葉山港のクルーザー及び国内5mクラスのヨット仲間が結成)		横浜セーリング倶楽部誕生、同志社ヨット部誕生、早稲田ヨット部設立(協会公認) 「第1回日本ヨット選手権レース」(後の全日本選手権) - (品川)東西対抗 全日本学生選手権(全日本インカレ) - 第1回(品川) 11/3神宮大会(後の国民体育大会)にヨット競技加わる。
1935	昭和10年		現葉山港は漁港として登録・開港	日本ヨット協会が国際ヨット競技連盟『IYRU』に加盟。日本ヨット協会会長:海軍大將竹下勇、副会長:西園寺八郎就任
1936	昭和11年	湘南ヨットクラブ会員名簿(昭和11年8月調 会員33名)昭和11年8月(調)となっている氏名住所録が残存  舵誌昭和11年9月号に湘南ヨットクラブ設立の記事ありと記載(長尾さんの国会図書館調べでバックナンバー無。記事の内容未確認)		第11回ベルリンオリンピック大会(ヨット競技はキール軍港)日本人のヨット競技(スター級・オリビア・ヨレ級)初参加、2種目7名参加で主将は財部貢選手
1937	昭和12年		大島一周レース(葉山港起点)	日本人による初の外洋レース、4艇参加、アオイ号優勝(26時間)
1940	昭和15年			12月戦時色濃くなり、日本モーターボート協会が、日本機動艇協会と改称
1941	昭和16年	湘南ヨットクラブはS16からS26まで湘南海洋練成会に改称		
1944	昭和19年			戦時下のため東京湾・相模湾全面使用禁止、ヨットレース開催不能
1948	昭和23年			日本クルージングクラブ(JCC)発足
1951	昭和26年	5/19湘南ヨットクラブ復会 入会費 オナー500円、クルー300円、会費 100円/月  8/1湘南ヨットクラブ船籍名簿 (31艇)	8/5湘南ヨットクラブ会員通知(漁協への使用料の支払い:築港修理費に充てる為、使用料として13万円の支払い、会員艇の係留を始めた。	日本ヨット協会主催「第1回シルバーカップレース(初島大島回航外洋ヨットレース)」選手(アブズリ) - 初島一 大島一 選手。出走17、完走8、110マイル、さくら(日大)優勝 日本ヨット連盟、IYRUに復帰
1952	昭和27年		12月葉山町管理の第一種漁港に指定	
?	?	(葉山ヨットクラブが湘南ヨットクラブを継承)  シーホース中心に活動するもやがて自然休会となる  旧ヨットハウス2Fの喫茶室(豊島さん経営)をクラブハウス代わりにしていた		
1954	昭和29年			米人主体だったJCCのあとを受け日本オーシャン・レーシング・クラブ設立(NORC)が日本人主体で発足
1955	昭和30年		第10回国民体育大会で、ヨット競技会場として葉山港が選ばれた。これにより昭和28年度より3か年で公共マリナーとしての施設を整備。	
1962	昭和37年	6月 「葉山ヨットクラブ総会;役員決定の記事(舵)」		4/17-19第1回東京ボートショー開催 8/12堀江謙一、マーメイド号で太平洋横断成功(19フィートJOGキングフィッシャー) 11/3-4初島レース、11名死亡、利島レース加え43隻出走、10隻完走
1964	昭和39年		鐘釣港が葉山港として地方港湾の指定を受ける。港湾管理者の県知事が、管理運営を葉山町へ委託開始。  10/11-21東京オリンピック、鐘釣が江の島の補完ハーバーとなる	日本ヨット協会は文部省所管の財団法人に改組 NORCは運輸省認可を受け、社団法人日本外洋帆走協会となる
1988	昭和63年	9月 葉山港利用者協議会発足		
1989	昭和64年	葉山港利用者協議会から「葉山ヨットクラブ」に改組(葉山港利用者協議会 平成元年 12/1 葉山ヨットクラブ規約制定(2001改訂版の規約残存)		
1990	平成2年	クラブページの更新(旧葉山ヨットクラブページデザインのバージョンアップ)		
1996	平成8年			第268回アトランタオリンピックにて 女子470級(重、木下)2位入賞
1998	平成10年		葉山港が第53回かながわ・ゆめ国体で青年女子ヨット競技の会場となる。	
2001	平成13年		7月 新港開港	
2003	平成15年	7/5(平成15年)石原慎太郎杯 第1回 葉山初島レース開催 18:00スタート(タイムリミット 7/6 14:00) 参加定数22艇 フィニッシュ艇数21艇		
2004	平成16年			8月 第28回アテネオリンピックにて 男子470級(関、轟)3位入賞
2006	平成18年	NPO法人 葉山ヨットクラブと改組(石原伸晃氏が会長就任)  9/10(平成18年) npo葉山ヨットクラブ設立総会開催  12/20NPO法人 葉山ヨットクラブ認可	指定管理者制度導入により、葉山町が管理者となる。	
2007	平成19年	4/1(平成19年) 第2回総会開催  任意団体葉山ヨットクラブの資産をnpo葉山ヨットクラブが引き継ぐ	港湾管理事務所現在の場所に新設(会議室・多目的室やシャワーを拡充)	
2008	平成20年	6/15(平成20年) 第3回総会開催	船庫庫の新設整備	
2009	平成21年	5/31(平成21年) 第4回総会開催	10/8台風18号による港湾施設と艇の被災(沈没艇2隻、係留艇被害25隻、ディンギー3隻、ボンツーン8基流出・大破・破損、駐車場舗装剥離・防潮層)	
2010	平成22年	6/13(平成22年) 第5回総会開催	4/1指定管理者公募により、葉山港の管理者が葉山町からリベラリゾートに移行(H22~25年度)	
2011	平成23年	6/12(平成23年) 第6回総会開催	1月 本港ボンツーン改修、3月 新港泊地一部係留チェーン増設  9/21台風15号による艇の被災(係留艇被害16隻、ディンギー多数)	
2012	平成24年	6/24(平成24年) 第7回総会開催  石原慎太郎杯 第10回 葉山初島レース開催2012年9月15日 8:00スタート 参加艇数22艇 フィニッシュ艇数20艇	本港ボンツーン整備完了	
2013	平成25年	6/23(平成25年) 第8回総会開催	本港上下架施設整備	